

番号	8 - 3	申請者	副薬剤部長 井上 大奨
<p>【審査申請課題】</p> <p>骨粗鬆症治療薬投与患者に対する薬剤師による血清カルシウム値測定支援プロトコールの有用性評価</p>			
<p>【審査課題の概要】</p> <p>骨粗鬆症は、骨密度の低下により骨折のリスクが増大する疾患であり、薬物治療が広く行われている。骨粗鬆症治療薬による治療を受けている患者では、高カルシウム血症や低カルシウム血症等の血清カルシウム値異常を来すことがあり、定期的な採血による評価が求められている。しかし、実臨床においては医師が血清カルシウム値測定を失念する場合もあり、適正使用の観点からも問題となっていた。そこで、医師の業務負担の軽減及び異常の早期発見による重篤化防止を目的とし、薬剤師が血清カルシウム値測定の支援及び評価を行うプロトコールを構築した。今回、本プロトコールの運用状況について評価を行い、薬剤師による介入の有用性を検証することを目的とする。</p>			
審査結果	承認 (令和8年6月22日)		